

平成28年度 朝来市商工会「経営発達支援計画」 事業実施評価表

指針別項目・事業	数値目標	実施結果	評価結果	委員からのコメント
I. 経営発達支援事業の内容				
1. 経済動向調査に関すること				
各種景況調査の分析 朝来市地域小規模事業者の景況調査 朝来市景況調査書の作成	調査件数 1回あたり80件 調査書の公開 2回	調査件数 前期178・後期292 調査書の公開 2回	B	・計画通り、年2回の調査実施と調査書を発行。概要書を全会員に配布している。 ・具体的な活用方法が今後の課題。
2. 経営状況の分析に関すること				
小規模事業者の分類分け「経営状況把握シート」作成 無形資産の把握と分析 タスクフォースによる経営分析	分析数 6社 タスクフォースによる分析 1社	分析数 7社 タスクフォースによる分析 1社	B	・「経営状況把握シート」により、事業計画の策定から補助金申請につなげている。 ・専門家と職員が一緒になって融資などの支援が行えている。 ・情報の共有化について改善を図ること。
3. 事業計画策定支援に関すること				
計画策定までのアクション			B	・目標を大きく上回る計画策定・補助金申請ができており、大きな成果といえる。 ・創業塾への創業後の者の参加者、全体的なフォローが課題。 ・経営革新塾の受講者の計画書策定が10社に留まっており、今後のフォローに期待する。
セミナー・説明会実施	事業計画策定支援 7社	事業計画策定支援 23社	A	
創業支援と創業塾の開催	創業計画策定支援 3社	創業計画策定支援 5社	B	
第二創業、事業承継	経営革新塾開催 1回	経営革新塾開催 1回	B	
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること				
事業計画策定後のフォローアップ	事業計画策定支援後巡回 7社	事業計画策定支援後巡回 11社	B	・事後のフォローの重要性に気づき計画に織り込んだ点は評価できる。 ・ただしスポット支援に終わっており、今後はチームとしての支援体制を構築されたい。 ・経営革新、事業承継後のフォローアップについても、チームで取り組める体制づくりが必要。 ・成果事例発表会は大変良い企画であり、商工会にとってもブランディングにつながる。
創業後のフォローアップ	創業後巡回 3社	創業後巡回 5社	B	
第二創業、事業承継後のフォローアップ	経営革新・第二創業後支援 3社	経営革新・第二創業後支援10社	B	
成功者による「成果輩出のための支援モデル」事業開催	事例発表会開催 1回	事例発表会開催 1回	A	
5. 需要動向調査に関すること				
業種毎の需要動向調査	需要動向調査 1回	需要動向調査 1回	A	・商品券のデータを収集して「景況調査書」に反映し、補助金の申請書作成に役立てている。 ・大学と連携して調査、集計分析したものを観光関連事業者に有効にフィードバックすること。
観光産業の市場調査の実施	観光市場調査 1回	観光市場調査 1回	A	
消費動向調査	消費動向調査 1回	消費動向調査 1回	B	
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること				
近隣展示会への出店支援	5社	11社・2団体	B	・「引き込み型」「売り込み型」の販路開拓支援は、費用対効果が問われる分野である。 ・市外の展示会への参加には限度があると思うが、パブリシティで実績を残している。 ・情報発信体制の構築支援は、セミナーの参加者が少ない。
情報発信体制の構築支援	講習会 2回・支援 5社	講習会 1回・支援 5社	B	
朝来市ブランド浸透に特化した販路開拓支援	1社	1団体	B	
市外展示会への出展支援	5社	6社・1団体		
新たな特産品等のプレスリリース支援	1社	1社・1団体		
II. 地域経済の活性化に資する取り組み				
○地域活性化事業				
地域経済の方向性の共有	会合等 1回	会合等 1回	B	・竹田地域の創業支援に飲食と宿泊の連携など新しい取り組みが始まっている。 ・回遊ブックは観光客動態調査の結果を反映して既存のとは違ったものを完成させている。
竹田地域の創業環境を整備	支援店舗数 20店舗	支援店舗数20店舗(うち新規2)		
回遊ブックの増刷		リニューアルし発行		
III. 支援力向上のための取り組み				
1. 支援ノウハウ等の情報交換に関すること				
「朝来市金融懇談会」の実施	1回	1回	B	・市の施策事業が金融機関に周知できていないことが判明したことは改善につなげていくこと。 ・公庫の相談会は件数こそ少ないものの、事業承継・創業支援につなげている。
金融相談会の実施	12回	毎月・延べ13件の相談		
専門家派遣による伴走型フォロー				
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること				
経営発達支援事業担当課会議		毎週実施	B	・全職員、管理職、担当課の会議を定期的には実施していることは評価に値する。 ・内部研修会も専門家を招き実施するなど、積極的に資質向上に向けた努力がうかがえる。 ・参加者意識に欠ける者もいるようなので、全員参加型の会議・ミーティングにされたい。
職場全体会議		毎月実施		
職場内部研修・勉強会		3回実施		
経営指導員等一般研修		随時参加		
チーフコーディネーター研修		随時参加		

A : 目標を達成することができた(100%以上) B : 目標を概ね達成することができた(70%~99%) C : 目標を半分程度しか達成することができなかった(30%~69%) D : 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)

【全体を通してのコメント】

- ・認定初年度の事業としては、数値目標を概ね達成されていると思う。
- ・計画にある3つの目標(事業方針)を十分に意識した取り組みが展開されていることが印象的であった。
- ・検証のうえでの対策・方向性について、各項目で会員事業所のことが述べられており、評価できる。
- ・重要なのはチームワーク。役割を明確にし、スケジュール管理を見える化するために、「ガントチャート」の活用を提案する。
- ・計画策定時から地域環境が変化していく中で、支援内容の見直しなど職員の対応の改善にも今後期待する。
- ・事業計画の策定支援と策定後のフォローアップは本計画の中核をなすもの。更なる強化と充実を望む。
- ・行政等とも連携と情報共有を密にし、事業者の課題解決、地域経済の発展に取り組まされたい。